

IoTセキュリティシンポジウム 2023 in 沖縄 開催報告書

主催者 重要生活機器連携セキュリティ協議会

2023年11月24日(金)、沖縄県立博物館・美術館(沖縄県那覇市)にて、一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)は「IoTセキュリティシンポジウム2023 in 沖縄」を開催致しました。本年度のシンポジウムでは「～生成AIの行く末とセキュリティ～」をテーマに、生成AIとセキュリティ、国内のセキュリティの施策、PSIRTなど、セキュリティに関わる幅広い内容について各界のスペシャルにご講演いただくと共に、パネルディスカッションでは「生成AIの行く末とセキュリティ～”バイデン・ハリス政権がThe Artificial Intelligence Cyber Challenge(AIxCC)を発表”のインパクト」と題し、最新のAI技術とサイバーセキュリティへの影響について、ご登壇者様と討論を行いました。また当会CCDSからの講演として、今年8月に開催されたDEF CON31の状況についてご報告させていただきました。

1. プログラム

名称	IoTセキュリティシンポジウム2023 by CCDS ～生成AIの行く末とセキュリティ～
主催	一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)
後援	一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)
日時	2023年11月24日(金) 13:00～16:55
会場	沖縄県立博物館・美術館 美術館 講座室
実施方式	会場参加およびオンライン
プログラム	<p>[13:00～13:10] 冒頭の挨拶 一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事 情報セキュリティ大学院大学 客員教授 荻野 司</p> <p>[13:10～13:50] 基調講演 『我々は生成AIとどのように付き合えばよいのか?』 慶應義塾大学 理工学部管理工学科 教授 栗原 聡 氏</p> <p>[13:50～14:30] 特別講演 『サイバーセキュリティ政策について』 経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 課長 武尾 伸隆 氏</p>

[14:30～14:45]

講演 1

『DEFCON アップデート1～DEFCON31 開催状況と最新動向』

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 事務局長

田久保 順

[14:50～15:10]

講演 2

『DEFCON アップデート2～自販機などで使われる NFC リーダハッキングの紹介』

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会

研究開発センターシニアリサーチャー

石川 智祥

[15:10～15:40]

講演 3

『PSIRT ホットピック 2023 ～PSIRT コミュニティで何が課題か？ 何を Watch すべきか～』

PwC コンサルティング合弁会社 マネージャー

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 フェロー

伊藤 公祐 氏

[15:50～16:50]

パネルディスカッション

テーマ：『生成 AI の行く末とセキュリティ』

～「バイデン・ハリス政権が The Artificial Intelligence Cyber Challenge (AIxCC) を発表」のインパクト～

[モデレータ]

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事

荻野 司

[パネラー]

・慶應義塾大学 理工学部管理工学科 教授

栗原 聡 氏

・経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 課長

武尾 伸隆 氏

・PwC コンサルティング合同会社

サイバーセキュリティ&プライバシー マネージャー

伊藤 公祐 氏

[16:50～16:55]

フェロー任命式～閉会

2. IoTセキュリティシンポジウム 2023 by CCDS の概要



(当日の会場風景)

①冒頭の挨拶

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事
情報セキュリティ大学院大学 客員教授
荻野 司



CCDS 代表理事の荻野より、当日のシンポジウムのテーマや開催概要について冒頭挨拶を行い、開会となりました。

②基調講演

『我々は生成 AI とどのように付き合えばよいのか？』

慶應義塾大学 理工学部管理工学科 教授

栗原 聡 氏



当日の基調講演として慶應義塾大学 理工学部管理工学科教授、栗原 聡様より、『我々は生成 AI とどのように付き合えばよいのか？』と題してご講演をいただきました。講演の前半ではこれまでの AI 研究の流れや、時系列データに対する表現学習の研究成果、そして ChatGPT がもたらす AI の民主化について、そのメリットや課題について解説をいただきました。講演の後半では、栗原先生が携われた「TEZUKA2023」プロジェクトの研究成果をもとに、AI による「ブラック・ジャック」の新作制作の裏側をお話いただきました。インタラクティブプロンプト生成 AI を活用することで、プロット生成からシナリオ制作、更にキャラクター生成やネーム、作画までをクリエイターと AI が連携して制作する過程をご説明いただきました。

③特別講演

『サイバーセキュリティ政策について』

経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 課長

武尾 伸隆 氏



続いては当日の特別講演として、経済産業省商務情報政策局サイバーセキュリティ課 課長、武尾 伸隆様より、『サイバーセキュリティ政策について』と題してご講演をいただきました。講演の前半では、サイバーセキュリティの現状や、経済産業省が進めるサイバーセキュリティ政策の全体像にはじまり、サプライチェーン全体での対策強化として、経営者や工場システムを対象としたガイドラインの策定、中小企業向けセキュリティ対策、産業制御システム向けのサイバーセキュリティ演習などの活動状況をご説明いただきました。講演の後半では、国際連携を意識した認証・評価制度の等の立上げについて、SBOM の導入に関する手引きのリリースや IoT 適合性評価制度の検討状況についてのご報告と共に、政府全体でのサイバーセキュリティ対応強化の対応状況について、ご説明をいただきました。

④講演 1

『DEFCON アップデート1～DEFCON31 開催状況と最新動向』

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 事務局長

田久保 順



続いて CCDS による講演 1 として一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 事務局長、田久保 順より、『DEFCON アップデート 1～DEFCON31 開催状況と最新動向』と題し、今年 8 月にラスベガスで開催された「DEFCON31」について報告を行いました。今年の DEFCON では「XR Village」、「Embedded Systems Village」など、更に新しい分野へ広がりを見せていました。こうした新規 Village の模様に加え、自動車、航空、IoT、ICS など既存 Village の最新状況や、世界一の規模となった DEFCON CTF の開催結果など、DEFCON31 の概況について講演を行いました。

⑤講演 2

『DEFCON アップデート 2～自販機などで使われる NFC リーダハッキングの紹介』

一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会

研究開発センターシニアリサーチャー

石川 智祥



続く CCDS による講演 2 として、一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 研究開発センターシニアリサーチャー、石川智祥より、『自販機などで使われる NFC リーダハッキングの紹介』と題して講演を行いました。講演では、DEFCON31 で紹介された IOActive 社、Josep Pi Rodriguez 氏による講演内容をもとに、POS、ATM、自販機などの非接触 IC カード取引で広く使われる NFC リーダのハッキング手法について解説を行いました。また NFC リーダを搭載する機器に対するハッキング手法や、脆弱性の影響についても説明を行いました。

⑥講演 3

『PSIRT ホットトピック 2023 ～PSIRT コミュニティで何が課題か？ 何を Watch すべきか～』
PwC コンサルティング合同会社 サイバーセキュリティ&プライバシー マネージャー
一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会 フェロー
伊藤 公祐 氏



講演 3 として、PwC コンサルティング合同会社 サイバーセキュリティ&プライバシー マネージャー、伊藤公祐様より、『PSIRT ホットトピック 2023 ～PSIRT コミュニティで何が課題か？ 何を Watch すべきか～』と題してご講演をいただきました。講演の前半では製品セキュリティ法規関連、製品セキュリティラベリングの状況について、米国、欧州、日本が進めるラベリング制度や法規制の動向、特徴について解説をいただきました。講演後半では PSIRT コミュニティで議論されている内容として、脆弱性のトリアージを効率化するための試みや、SBOM の対応における課題、Machine Readability による効率化など最新のトピックをご説明いただくと共に、日本のサイバーセキュリティイベント Code Blue や、世界のインシデントレスポンスチームが集う団体 FIRST における AI に関するトピックもご紹介いただきました。

⑦パネルディスカッション

テーマ：『生成 AI の行く末とセキュリティ』

～「バイデン・ハリス政権が The Artificial Intelligence Cyber Challenge (AIxCC) を発表」
のインパクト～



[モデレータ]

重要生活機器連携セキュリティ協議会 代表理事

荻野 司

[パネラー]

・慶應義塾大学 理工学部管理工学科 教授

栗原 聡 氏

・経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 課長

武尾 伸隆 氏

・PwC コンサルティング合同会社 サイバーセキュリティ&プライバシー マネージャー

伊藤 公祐 氏

当日のシンポジウムの締めくくりとして、『生成 AI の行く末とセキュリティ』をテーマに、モデレータを CCDS の代表理事 荻野 司が務め、ご登壇者様をパネラーに迎えたパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションは、DEFCON31 における AI ハッカーコミュニティの状況や DARPA が進める” The Artificial Intelligence Cyber Challenge (AIxCC) ”など、最新のトピック紹介をはさみつつ進行しました。当日の議論としては、進化を続ける生成 AI 技術の行く末や、サイバーセキュリティへの影響、そして倫理上の課題や人による意思決定の是非などをテーマに、限られた時間の中で非常に活発な討論が行われました。

⑧フェロー任命式・閉会



シンポジウムの閉会にあたり、CCDSの活動に多大な貢献をいただいた雨宮 豊 氏へ、フェローの任命式とトロフィーの贈呈が行われました。雨宮氏、CCDS 代表理事の荻野より、それぞれ今後のCCDSの活動に向けた思いをお話いただき、シンポジウムは閉会となりました。

3. 参加者数

事前申込登録者	・会場参加：36名 ・オンライン参加：113名 合計：149名
参加者数（参加率）	・会場参加：35名 ・オンライン参加：112名 合計：147名（99%）

以上